

目 次

提言の要約	1
第1章 はじめに	2
第2章 現状と課題	3
2-1 集中豪雨の現状分析	3
(1) 集中豪雨の変化	
(2) 集中豪雨の被害状況	
2-2 京都府宇治市の事例	4
(1) 宇治市の紹介	
(2) 平成24年8月の京都府南部豪雨災害における災害と対応	
2-3 事例とアンケートから導き出される課題	6
(1) 災害発生初期における行政側の対応	
(2) 住民への情報伝達のあり方	
(3) 住民の地域危険度の認識	
第3章 政策提言	10
提言1 情報伝達側の体制強化	10
(1) 情報収集に特化した組織作り	
(2) 職員の技能及び意識の向上	
提言2 情報伝達方法の拡充	11
(1) 伝達手段の多重化・多様化	
(2) 地域での連絡網の確立	
提言3 地域での情報活用	13
(1) 洪水ハザードマップの活用	
第4章 おわりに	14



《 提言の要約 》 集中豪雨対策

～ 情報伝達って難しい!? ～

集中豪雨災害多発

現 状 分 析

気候・気象の変化

- ・温暖化の影響による集中豪雨の増加
- ・予測不能な気象変化

宇治市の事例

- ・災害対応と防災計画との比較
- ・現場の問題点

アンケート調査

- ・災害情報の入手経路
- ・避難行動のきっかけ
- ・住民の危険認識度

課 題 抽 出

災害発生初期における行政側の対応

住民への情報伝達のあり方

住民の地域危険度の認識

政 策 提 言

①情報伝達側の体制強化

- ・情報収集に特化した組織作り
- ・職員の技能及び意識の向上

②情報伝達方法の拡充

- ・情報伝達手段の多重化・多様化
- ・地域での連絡網の確立

③地域での情報活用

- ・洪水ハザードマップの活用
- ・住民の防災意識の向上